

江東区 青少年委員だより

No.81号

江東区青少年委員会
広報部
江東区地域振興部青少年課
地域連携係
江東区東陽4-11-28
TEL.3647-9629
FAX.3647-8474

令和6・7年度 青少年委員会 本格的に活動スタート



「地域の宝物
ジュニアリーダーの育成」

江東区青少年委員会 会長
福山 憲治

令和4・5年度に続き、令和6・7年度も江東区青少年委員会会長に就任いたしました。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。令和4・5年度は、コロナ禍で実施できなかった活動や制限を掛けながらの活動が、アフターコロナに向かうことにより活発にできるようになりました。令和4・5年度の大きな活動の振り返りとして「江東区内都立高校紹介」があります。令和2・3・4年度は会場開催を中止し、オンラインで実施（ケーブルテレビ放映とYouTube動画配信）でしたが、令和5年度は4年ぶりに「ティアラこうとう」での会場開催ができ、当日は多くの皆様にご来場いただきました。今年度以降も「ティアラこうとう」で開催するために進めてまいります。

その他、令和4年度ではジュニアリーダー宿泊キャンプ講習をデイキャンプに変更せざるを得ませんでした。令和5年度には1泊2日ではありますが、行うことができました。これからも、地域の宝物であるジュニアリーダーの育成と応援は、江東区少年団体連絡協議会と行政と連携し、より良いものにしていきます。今後ともご協力よろしくお願ひします。



「みんな、かがやく！」

江東区教育委員会 教育長
本多 健一郎

令和6年4月4日、令和6・7年度の江東区青少年委員の皆様へ委嘱状を直接お渡ししました。委員の皆様の熱い思いが、私にもしっかりと伝わってきて、改めて青少年委員の皆様のご存在をとっても心強く感じました。福山会長を中心とした、青少年委員の皆様方のご尽力に心より感謝申し上げます。

コロナ禍を越えて、青少年委員会の活動も皆様のご努力により、これまで以上に充実したものになっています。「江東区内都立高校紹介」では、参加者数の多さもさることながら、各校の紹介やアトラクションもすばらしかったですし、「二十歳のつどい」でも円滑な運営ができ、参加者の笑顔があふれていました。私は、その他の活動にも参加させていただきましたが、どの活動も委員の皆様のパワーが大きな成果につながっています。

今年度、江東区教育委員会と江東区立学校・幼稚園では、「みんな、かがやく！」をテーマに取り組んでいます。こどもたちが「かがやく！」ことを目指し、支えていただいている青少年委員会の皆様も、こどもたちとともに「かがやく！」こと、そして青少年委員会のますますの充実、発展をお祈り申し上げます。

令和6・7年度 青少年委員委嘱式

～気持ちも新たに～

令和6年4月4日(木) 江東区文化センターにて、令和6・7年度の青少年委員の委嘱式が行われ、本多健一郎教育長から各委員に委嘱状が手渡されました。各小学校学区と校長会から選出された46名の、青少年委員としての2年間がスタートしました。今期は、13名の新任委員が加わり、学校・家庭・地域の懸け橋として、多くの活動を行ってまいります。



話に聞き入る委員たち



本多教育長より委嘱状交付

令和6・7年度

各部長・各実行委員長・各地区長 のごあいさつ

専門部会



「ズキズキ研修、ワクワク親睦」

研修部長 小松原 弘文

青少年委員は各小学校を中心とした地域から選出されているため、研修部は横のつながりが薄くならないよう配慮した活動を心掛けます。

言うならば親睦色の濃い研修活動になればと願うයිので、部員の皆さんはもちろん、全委員の皆さんからも、忌憚のないご意見、ご要望をお待ち申し上げます。

「なんでドキドキでなく、ズキズキなんでしゃろ…」

「ドキドキでは弱いんだよ、ズキズキでないと！」

先日まで放送されていたNHK朝の連ドラから、ヒット曲東京ブギウギ誕生秘話を引用しました。

青少年委員会一丸で、インパクトある企画にしていきたいと思います。



あきな 「翠那豊かに」

青少年育成部長 林 統一

青少年育成部長を務めます枝川小学校区選出の林と申します。青少年育成部は前期まで「ジュニアリーダー講習会」「江東区立中学校生徒会交流会」「中学生体験プログラム」の三本柱を軸として活動してまいりましたが、今期は「ジュニアリーダー講習会」を大きな軸とし、新たに「防災」をテーマとした催しを付加していくといった試みに挑戦いたします。

コロナによって荒れてしまった大地を懸命に耕し種を蒔いて下さった高取前部長の想いを引き継ぎ、芽吹いた芽が太い幹となり多くの実がなる大樹に育つよう関係する諸団体の皆様と連携し、実りある活動をしてまいります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



「3期目もよろしくお願いします！」

広報部長 安井 寛弘

3期目の広報部長を拝命しました。2期目の広報部長を引き受けた時には、次は別の方をお願いしたいと考えていました。しかし、委員会の体制の見直しを行ったこともあり、もう1期広報部長として青少年委員会を支えていく決意をしました。広報部員の人数は、前期から半減しましたが、広報部の経験者も初めての部員も、一丸となって青少年委員の広報活動を担っていきます。

青少年委員会の活動は、年々精力的、意欲的になっており、委員の熱量はとても高いと感じています。その「熱さ」をより多くの皆さんに伝えられるよう、2年間頑張っていきます。今期も引き続きよろしくお願いします！

実行委員会



「満足度が高い都立高校紹介に！」

都立高校紹介実行委員長 喜古 修

前期に引き続き都立高校紹介実行委員長を務めさせていただきました喜古でございます。今年も「行ける学校ではなく、行きたい学校に！」を合言葉に、中学生や保護者の皆様を対象に進路選択のサポートをねらいとして、「江東区内都立高校紹介」をティアラこうとう大ホールで開催いたします。

当日ご来場の皆様、発表をする都立高校の生徒の皆さんに“参加して良かった!!”と満足度が高いコメントをもらえるように、新メンバー7名を加えた都立高校紹介実行委員会10名で、担当高校への訪問、担当中学校への周知の連絡・ポスター作成など、入念な準備をした上で望みたいと思います。よろしくお願いいたします。



「こぞってお越しいただきたい！」

区民まつり実行委員長 笠井 君夫

青少年委員会では区民まつりにおいて「なつかしの縁日」と題して、射的のコーナーを催しています。今年も、従来のポン菓子をお休みさせていただき、新たな企画を計画しています。射的では、毎年子どもたちが自分で当てた景品が取れるという超アナログ的な事象に、ドキドキ感が新鮮なようです。新たな企画と合わせ、お祭りの露店さながらに、青少年委員会のブースを盛り上げます。

老若男女問わず、区民の皆さんのご来場を青少年委員一同お待ちしております。

委員研修会開催

令和6年5月16日(木)・6月20日(木)の2日間、青少年委員会の定例会開催時に委員研修会が開催されました。

5月は、安井広報部長が前期の「青少年委員だより」や「青少年委員のあゆみ」の記事を使用し、青少年委員会の組織と行事について説明しました。

新任委員も 5/16
継続委員も

青少年委員
について
学びました 6/20

6月は、青少年委員会が共催しているジュニアリーダー育成事業の説明がありました。当日は、現役のジュニアリーダーを招いて実際の活動の様子や現状について説明を受けました。



地区会



「青少年委員活動の魅力とは！」

深川南部地区長 古谷 潤

3期目になる青少年委員活動が始まりました。メンバー新旧交代が行われ、新しいメンバーとともに地区長として、2年間深川南部を盛り上げていきます。

青少年委員活動の一番の魅力は、各地区と交流により様々な委員と親睦を深められることにあります。地域のサポーターとして活動する際、他の地区では、防災体験が盛り上がっていたとか、三者懇談会でプロフィール冊子を作り相互理解を深めていたなどの情報が役立ちます。他の地区との交流が、地元のボランティアに対するモチベーションアップにつながります。

これからの2年間の活動を通じ、人生の先輩から後輩まで幅広い人脈の和を作りたいと考えています。スタートした青少年委員活動を新たな仲間とともに楽しみつつ、地域のこどもたちのために、活動してまいります。



「青少年委員本来の役目とは」

深川北部地区長 田下 恵一

青少年委員4期目となる今期、深川北部地区長を拝命いたしました。青少年委員本来の役目とは、「学校・家庭・地域の懸け橋」である。しかし、懸け橋として認識してくれているのだろうか。委員会の仕事にばかり一生懸命になって自分の選出された地元地域や学校を疎かにし、地元から我々の本来の役目を認識してもらえないなど絶対にあってはならない。具体的な目標を言えば選出小学校の児童数の10%の数の家庭が自分の学校の青少年委員の顔と名前を認識して欲しい。そのため深川北部地区では昨年同様、小学校の校庭まつりに「防災ポイントラリー」を出展し、その場で青少年委員の顔と名前のチラシを配布して目標である10%に認識されるよう努力してまいります。



「チーム亀戸、こどもたちのために」

亀戸地区長 渡部 光一

今期から亀戸地区長となりました渡部です。活躍された高橋さんが定年退任となり、わたしでいいのかと思いましたが、亀戸地区は5名しかいないので順番ということで地区長になりました。まだわからないことが多いのですが、まわりの方々はベテラン揃いですので教えていたしながら、頑張っ活動していきたいと思ひます。

亀戸地区では亀戸地区OB会、副校長先生も含めた四者懇談会などを開催し、地域・学校・PTAの皆様と親睦を深め、こどもたちのために何ができるかを考えながら、チーム亀戸でこどもたちの成長を支援できればと考えております。これから2年間、皆様と仲良く楽しく活動していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



「地区長就任のごあいさつ」

大島地区長 大熊 右文

今期、大島地区長を務めさせていただくことになりました、第一大島小学校区選出の大熊と申します。大島地区は6名の委員で構成され、今期は新たに2名の委員を迎えました。大島地区の6名は、地域での活動実績が豊富であり、地区長としては、メンバーの意見を大事にしながら会の運営を行ってまいります。大島は地域の活動が活発な地域です。青少年委員会の活動はもとより、地域における活動にも積極的に参加し、こどもたちが健やかに楽しく過ごせる環境づくりに貢献していきたいと考えております。



「ニュー砂町地区」

砂町地区長 菊地 小夜子

砂町地区長を務めることになりました、第二砂町小学校区選出の菊地小夜子です。

砂町地区は12名の委員が各小中学校の行事や青少年対策地区委員会などに参加して活動をしています。砂町地区としては開催することができなかった三者懇談会を開催していきたいと思ひています。

今期は新任委員3名が加わりました。みんなが意見を出し合い相談し合っ力を合わせていきながら、砂町チームとしてこどもたちの健全育成に貢献していきたいと思ひております。どうぞよろしくお願ひします。

地区会探検

深川北部地区

深川北部地区は前期で今野・大橋委員が退任され、新たに高橋瞬一委員を迎え今期のスタートを切りました。6月28日に昨年同様、飲食形式にて三者懇談会を開催しました。新たな試みとして『座席』と『各校発表順』をくじ引きにてランダムにしたところ、普段交流の機会が少ない方々とも親睦をより一層深めることができました。

今年度も川南小(8月24日)、東川小(9月28日)、深川小(11月23日)のイベントと、「深川春のこどもまつり」(来年3月)に参加し、「防災ポイントラリー」を開催する予定です。

青少年委員会全体の活動だけではなく、これら青少年対策地区委員会独自の活動を通じて我々青少年委員の存在をアピールするとともに「学校・家庭・地域の懸け橋」という本来の役目を果たして行きたいと思ひます。



生涯施設 見学会



令和6年6月22日(土) 九段にある昭和館と靖国神社遊就館にて、研修部主催の生涯施設見学会が30人の委員の参加で行われました。

最初に見学した「昭和館」では、戦中から戦後にかけての国民のくらしがわかる様々な資料や生活用品が、年代にそって展示されていました。当時の大変厳しい状況の中での生活の様子などを知ることができました。

続いて、靖国神社遊就館に移動して見学しました。歴史的な資料はもちろんですが、家族や大切なものを守ろうとした多くの方々の「心」に触れる見学でした。当時のたく



さんの方々の思いがあって、今の自分たちの生活が成り立っていることに感謝し、大切に引き継いでいこうと思いました。

ジュニアリーダー 講習会 開講

令和6年6月9日(日)、令和6年度のジュニアリーダー中級講習会が開講しました。ジュニアリーダーの育成事業は、江東区・江東区少年団体連絡協議会とともに、青少年委員会が主催しています。ジュニアリーダーは、初級講習会と中級講習会を修了

した講習生が認定されます。当日は、昨年度に初級講習を修了した講習生が、ジュニアリーダーを目指し、2年目の講習に臨みました。9月には、初級講習会の開講が予定されています。

青少年委員は、講習会や宿泊研修のサポートを行い、ジュニアリーダーの育成に力を入れていきます。



ジュニアリーダー中級講習生の前で話す福山会長

青少年課 職員紹介



「節目の年を迎えて」

青少年課長 篠崎 修

青少年委員の皆様には、青少年健全育成のため地域での様々な役割を担っていただきまして心より感謝を申し上げます。

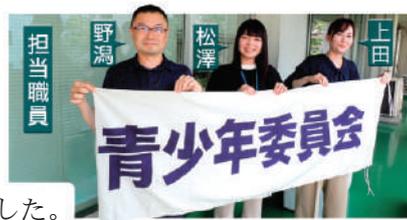
私は昨年4月に青少年課長に着任し、初めての宿泊キャンプやジュニアリーダー講習会など多くの行事に参加させていただきました。令和5年度は青少年委員会が発足70周年の節目の行事に参加することができ、改めて青少年委員の皆様が歩まれてきた青少年健全育成のご活動に対して敬意を表したいと思えます。

時代の流れは早く子どもたちを取り巻く環境は日々変化をしていると言っても過言ではありません。このような中で子どもたちを見守っていただける青少年委員の皆様とのさらなる取組を今後もお願いしたいと思います。

「春夏秋冬、こどもと地域のために」

青少年課地域連携係 係長 野瀬 亮

昨年度からコロナが5類に緩和され、イベント事業規制も徐々になくなり、本年度は久しぶりのコロナ以前の事業実施体制となりました。



春から始まる、ジュニアリーダー講習会での見守り安全活動支援、真夏の少年キャンプと都立高校紹介、秋の区民まつりでは懐かしの縁日運営、冬には二十歳のつどいなど『春・夏・秋・冬』子どもたちのために活動される皆様に頭が下がる思いです。

こどもと地域のため工夫を凝らして和やかな雰囲気、イベント事業を作り上げて活動していることに、明るさとパワーを感じました。青少年課地域連携係長として3年目をむかえ、この雰囲気を大切に次につなげていけるよう、係一丸となってサポートしていきたいと思えます。

編集後記

新体制がスタートしました。発行にあたり、寄稿していただいた皆様に感謝申し上げます。新たな委員も加わり、これからどのような活動を行い、伝えていけるのか、広報部としてもとても楽しみです。「青少年委員だより」では、青少年委員の活動をお届けしていきますので、よろしくお願ひいたします。(K.Y)



令和6・7年度 広報部